

今や子育ての悩みは、「育児ストレス」となって深刻な問題に発展することがあります。核家族が増え、少子化が進む中で、母親が家の中で孤立し、育児ストレスをため込み苦しんでいます。最悪の場合、児童虐待に発展するケースもあります。こうしたことから、札幌市では子育て家庭をサポートするため、さまざまな支援事業を行っています。

今月は、育児に悩む母親が、近所の主婦の手助けをきっかけに、子育て講座などによって元気を取り戻し、親として成長していく物語を紹介します。

“子育てママさん”奮戦記



ていねいねこ
手稲 稲子さん
手稲に生まれ育ち、うん十年。面倒見の良さはピカイチで、地域から厚い信頼がある。何にでも興味を持つベテラン主婦。



あいさん くるちゃん
手稲区に引っ越してきたばかり。2歳の子ども「くる」ちゃんの子育てに悩む20代のヤングママ。

稲子 まあー、あいさんじゃないー最近見掛けないから心配していたのよ。
あい あ、稲子さん…。私、何だかすごく疲れちゃって…。子育てがこんなにつらいとは思いませんでした。クソッ。

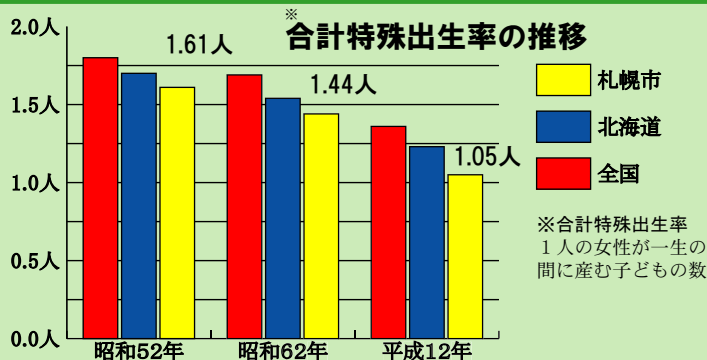
●子育てに悩む、あいさん
ある日、くるちゃんの手を引いて、疲れた様子で買い物から帰ってきました。その姿を稲子さんが見付けました。

☆月△日 雨
天気が悪く家の中でボーッと過します。くるちゃんが、ぐずって、ようやく寝たと思っただらすぐ起きて騒ぐし…。一人の時間がなくて、もうグッタリ。友達に電話をかけたら留守。心の中まで、雨だわ。

☆月×日 曇り
くるちゃんが、スーパーマーケットでわがままばかり言うから、ずっとイライラ…。パパは、プロ野球に気を取られて、話しは上の空。あー、私もわがまま言いたい！



- 子育てがつらいと感じる、楽しさとつらさを同じくらいに感じる 約38%
- 女性が子育てをつらいと感じる主な理由
 - 「自分の自由な時間がなくなる」 (42.7%)
 - 「自分が思ったように働けない」 (31.8%)
 - 「子どもを連れて外出することが大変」 (18.9%)
 - 「子育ての大変さを周りの人が分かってくれない」 (16.2%)



資料：少子化に関する世論調査(平成11年2月)総理府広報室

資料：札幌市児童家庭部

2002-8-広報さっぽろ